

## 看護学生の異文化感受性に関する研究

【キーワード：看護学生、異文化感受性、国際交流】

### 領域・氏名

看護（老年看護学）助教／ 丸山加菜

### 概要

在留・訪日外国人の増加に伴い、医療現場では外国人患者をケアする機会が増加しています。看護系単科大学の学生は、日常的に留学生との交流が少なく、新興感染症の流行や経済的理由などにより海外渡航が困難な場合もあり、日本国内で実施する異文化感受性を高める国際看護教育の在り方が求められています。

### 具体的な内容

これまで、看護系単科大学の学生を対象に、オンライン国際交流の効果について調査してきました（科研費：21K10580）。交流後に、異文化感受性が高まり、対面交流に比べて非言語的コミュニケーションによる情報が少ないオンラインでも、交流により自信を失うことなく達成感が得られ、チャレンジ精神の出現や学習意欲の向上といったポジティブな心理的变化が見られました。しかし、異文化理解や看護観への影響は気づきの段階にとどまっており、オンラインでの国際交流を実施する際は、学生の交流経験の有無やレディネスを考慮しつつ、段階的にねらいを設定する必要がありますと考えられました。今後は、日本国内に暮らす外国人との対面での直接的な交流など、より効果的な内容についても検討していきたいです。

### information

国際看護に関する出前講座が可能です。今後は、高齢者施設における外国人労働者に関する研究についても取り組んでいきたいと考えています。